



萩市
HAGI

議会だより

2012.8.1 No.25

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



越ヶ浜小中学校の和船競漕

6月定例会

大島漁港特定漁港漁場整備工事に
関する調査特別委員会を設置 3

P

一般質問

15人が質問しました 6~10
(原文のまま掲載してあります)



8月18日 萩ふるさとづくり盆踊り大会

市民の声を 市政に反映



議長
柴田保央

議長あいさつ

去る五月臨時会の議会構成におきまして、この度議長の大役を仰せつかりました。

誠に身に余る光栄であり、改めてその責任の重さを痛感する次第です。

私自身、市町村合併を通しての議員経験を踏まえ、初心にかえて市民の皆様のお力添えを頂きながら、萩市の発展と市民福祉の向上に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。

現在の社会情勢は依然として厳しい状況にあり、長引く景気低迷や少子高齢化に加え、未曾有の被害をもたらした東日本大

震災以降、国内は政治経済など多様な分野で変化の時代を迎えています。地方においても少なからずその影響が顕在化しつつあり、市においても例外ではありません。個性豊かで活力のある安心安全な地域社会を構築し、さらなる市政の飛躍を展望したとき、複雑多様化する行政需要に対応するため、克服すべき多くの課題に鋭意取り組むことが重要であると感じています。

このような中、議会としても市内各地域の産業・伝統・文化などそれぞれの地域特性を活かしながら、市民生活の向上に不可欠な福祉施策や農林水産業等の振興施策、若者定住の促進、防災の充実整備、道路交通網の整備促進など総合的な施策の展開を図ります。

さらに市民の目線に立ち、皆様の声をしっかりと聞きその声をさらに市政の飛躍に反映できるように議会にすべく、議員一丸となって執行部とともに全力でその任にあたって参る所存です。

市民の皆様には、議会活動に對しまして引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のあいさつといたします。



監査委員
尾木武夫



副議長
西島孝一



議員提出議案

特別委員会設置される

6月定例会最終日（7月4日）に、議員提出議案として3議案を提出しました。

地方自治法第100条に基づく大島漁港特定漁港漁場整備工事に関連した金銭授受等の問題について調査する特別委員会を設置することを求める決議（賛成少数否決）

この議案は、平成18年度大島漁港特定漁港漁場整備工事に関わる現職議員への金銭授受等の問題に関連する事務について、地方自治法第100条及び萩市議会委員会条例第6条に基づいた「100条委員会」の持つ強制力等を使った調査を行うよう求めた議案です。

（注）「100条委員会」とは

強い権限を持って調査を行い、正当な理由がなく出頭又は記録の提出要請を拒んだり、虚偽の陳述を行った場合には、禁固刑を含む厳しい罰則が科されます。

大島漁港特定漁港漁場整備工事にに関する契約事務の適正執行について調査する特別委員会を設置することを求める決議（全会一致可決）

この議案は、大島漁港特定漁港漁場整備工事の入札から工事完了までの事務処理の調査を、地方自治法第110条及び萩市議会委員会条例第6条に基づいた「特別委員会（委員は、議長を除く25名）」を設置し、調査するよう求めた議案です。

この議案を可決後、直ちに委員会が招集され正副委員長の互選を行い、委員長に坪井豊委員、副委員長に中野伸委員を選出しました。

今後この特別委員会では、工事の入札から事務完了までの事務処理の調査を行うと共に、公共工事に関連する現職議員の金銭授受、接待疑惑などについても調査を行います。

十分に調査ができない場合は、地方自治法第100条に基づいた「100条委員会」の開催も視野に入れています。

（注）地方自治法第110条及び萩市議会委員会条例第6条に基づいた委員会とは、調査権限は持っていますが、「100条委員会」のような強制力は、持っていません。

現在、萩市議会では「主要道路整備促進調査特別委員会」と「産廃処分場建設問題調査特別委員会」を設置しています。

基地対策予算の増額等を求める意見書（全会一致可決）

この議案は、基地所在に伴う諸問題の解決に向け鋭意努力をしている基地関係市町村の実情に配慮し、平成25年度予算において基地交付金・調整交付金の増額と基地交付金の対象資産を拡大すること、また基地周辺対策経費の所要額の確保と各事業の補助対象施設及び範囲の拡大等の適用基準の更なる緩和を図ることを国に対し、強く要望するものです。

緊急質問が行われました

7月4日、本会議において、小林正史議員が質問を行いました。

「大島漁港特定漁港漁場整備工事にに関する一般質問の答弁」について

問 定例会一般質問で、宮内欣二・諸岡皓二両議員から証拠の提示及び、事実確認が不十分な質問がされました。

市民に対し深刻な行政不信を招き、かつ議員の品位までも失墜させる結果となっています。

この件は、市としても非常に重大な問題であり、市民も高い関心を持っています。

7月2日、全員協議会において市長より、鋼材の流れ、関連企業の事実関係、金銭授受疑惑について説明がありました。その後の調査も含め市民に対し説明を求めます。

答 全員協議会でも話したとおり、宮内議員の質問における「ある人物がある業者に入札参加を見送らせ、便宜を図った旨」の発言については、そもそも入札時には、その業者は事業を開始しておらず、市への入札参加の登録もされていません。入札参加を見送らせたという話には無理があり、事実ではないと言わざるを得ません。

鋼材の流れについては、不自然な取引として、疑惑があるとの指摘がありました。取引としては、県内の特約店が関与したもので問題はありません。

また、金銭の授受については、関連企業にも確認しましたがそのような事実はありません。なお、全員協議会で報告した後、元請会社から市に対して信用回復の手段を講じるよう要請があり、その対応如何によっては、しかるべき措置を取るとまで言われています。

地域見守りネットワークの整備・強化 総務

総務委員会には、一般会計補正予算を含む議案4件が付託され、審査の結果全て可決するものと決しました。

主な審査の内容は、次のとおりです。

平成24年度一般会計補正予算について。

○地域見守りネットワーク整備強化事業（383万円）

問 委託料がありますが、どこへ委託するのですか。

答 地域支え合い体制づくりについて、社会福祉協議会へ委託し、見守り・支え合い活動の普及や研修会等の開催を行います。

問 地域交流活動拠点の整備として15ヶ所を予定していますが、すでに決定しているのですか。

答 まだ決定していません。これから募集を行います。

○難聴児補聴器購入等助成事業（19万円）

問 市内で対象となる18才未満の児童・生徒は何人くらいいますか。

答 県からの情報や市で実施している乳幼児健診等に基づき、3名程度を見込んでいます。

○ふるさと回帰応援事業（240万円）

問 これまでの実績はどうなっていますか。

答 農業関係では、この度の1名を合わせて12名、漁業関係では、この度の1名を含め5名です。現在まで共に離職者はありません。

○原山長沢線道路改良事業（500万円）

これは、企業誘致により原山台に農業生産法人が大規模な畜舎等を建設する予定であることから、飼料や搬出牛の輸送の安全確保や地域住民の利便性と安全を確保をするため、道路改良を行うための測量設計費です。

なお、畜舎等は平成25年3月までに完成し、1,700頭の牛を飼育する予定です。

工事請負契約の締結について（契約金額7億5,075万円）

これは、消防救急デジタル無線整備工事に関するもので、平成25年3月までに完成する予定です。

問 エリアカバー率が40%から80%に向上するという説明ですが、残り20%の対応はどうしますか。

答 携帯無線や携帯電話等を利用して対応します。

問 この工事に市内業者は参加していますか。

答 特殊な工事で技術的に難しいため、参加していません。しかし、必要な材料等はできるだけ市内業者を使うよう要請しています。また、建物の建築等市内業者で行えるものについては、市内業者で行う予定です。

なお、エリアカバー率について委員より、居住地を中心に検討されるようにとの意見がありました。

6月定例会を開催

6月定例会が平成24年6月20日から7月4日まで15日間の会期で開かれ、12議案・議員提出議案3議案を審議し、議員提出議案1議案を否決しました。

委員長	小林 正史
副委員長	西中 忍
委員	岡 通夫
	佐々木武夫
	西島 孝一
	広兼 義烈
	諸岡 皓二
	横山 賢治
	横山 秀二

「萩市花と緑のまちづくり条例」を制定 **経済建設**

経済建設委員会では、一般会計補正予算を含む議案4件について審査を行いすべて可決しました。

○萩市花と緑のまちづくり条例について

私たちのまち萩は、海・川・山の豊かな自然に囲まれた明治維新胎動の地といわれる誇るべき歴史のあるまちです。

しかしながら、都市化の進展に伴い「土塀からのぞく夏みかん」「まちじゅうに香る夏みかんの花」「歴史を見守ってきた松の古木」といった萩を物語る花と緑が失われつつあります。

花と緑は、市民の健康で文化的な生活環境を確保し、潤いと安らぎのある都市環境を形成する上で極めて重要であり、市民にとって心のよりどころとなるものです。

このような認識の下、市・市民及び事業者等はそれぞれの立場において、相互に協力して萩の花と緑を守り、育て、次世代に継承することを目指すものです。

問 萩市緑を守る条例と今回制定された条例との違いは何ですか。

答 今回の条例は、花を加えた条例としています。

問 花と緑の名所づくりの推進はどうされるのですか。

答 第10条（花と緑の名所づくりの推進）に示してあるように、花・木マップを作成します。

○平成24年度萩市個別排水特別会計補正予算（第1号）について

○萩田床山いこいの広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

（地籍調査による地番の変更）

○工事請負契約の締結について（2億9,190万円）

（新清掃工場へのアクセス道）



緑化されたブロック塀

- 委員長 長岡肇太郎・副委員長 関 伸久
委員 青木 賢次・斉藤 眞治・柴田 保央
世良眞名夫・西元 勇・松尾 義人

学校給食共同調理場を統合 **教育民生**

教育民生委員会には、住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施工に伴う関係条例の整備に関する条例と、萩市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の2件について審査を行い、2件とも可決しました。

○明木学校給食共同調理場を廃止し、川上学校給食共同調理場に統合



川上学校給食調理場

明木学校給食共同調理場は、明木小学校・明木中学校の給食を調理していますが、調理場は昭和33年建設。すでに54年経過し、施設の老朽化が著しいために、川上学校給食共同調理場に統合するものです。

施設改修費用はすでに平成24年度当初予算で認められており、2学期からの実施を目指し、7月より施設改修を行うとのことです。

これにより、川上小学校・川上中学校の64食に加え明木小学校・明木中学校の95食分の計159食分を共同調理することになります。

調理場の人員配置については、川上3人・明木3人の現在の体制を今後は、川上4人体制で行うとのこと。また温度管理や、搬送手段については、安全面を最優先にし、万全を期すとのことです。

今後の予定としては、来年度からは佐々並小学校・佐々並中学校の給食も、川上調理場で実施する予定との説明がありました。

- 委員長 中村 洋一・副委員長 椋 晶雄
委員 大村 赳夫・尾木 武夫・木村 靖枝
坪井 豊・中野 伸・平田 啓一
宮内 欣二

一般質問

6月25日から27日まで15人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



新たな施策で萩市の経済力を元気に
西中 忍
(過疎問題を考える会)

【問】市長は、3月定例会の人口減少問題に関する私の質問に対し、人口減少は市の経済力が弱まった結果だとの認識を示されました。

そこで、市長が人口減少の原因と指摘した、弱くなった市の経済に元気を取り戻すため、2つの制度の創設を提案します。

- ① 新築住宅に対する助成制度。
- ② 普通自動車から軽自動車へ乗り換える場合の補助制度。

市長の所見をお尋ねします。

【答】現在、実施している住宅リフォーム助成事業は一件最大10万円で、幅広く市民の皆様にご利用されていますが、事業を新築住宅に拡大した場合、助成を増額する必要もあり、限られた財源の中で実施するには、効果等を慎重に見極める必要があります。また、普通自動車から軽自動車への買い替えに対する補助を行っても、今の税制度においては、その効果は少ないと考えられます。

費用対効果を考えながら、より効果が見込まれる施策の展開を図っていきます。



軽自動車税は市税です



萩市の林業振興は、林内の道づくりから
岡 通夫
(政和会)

【問】窮地に追い込まれている林業の振興や再生の「カギ」は、安全で安心して通れる林内の道づくりが必須条件と考えます。

しかし山林の管理者不在や、高齢化が進み作業道など森の保全管理が難しい現状にあります。

萩管内の225作業路線も車や、作業用重機、また人さえ通り辛い道が増えています。

森林資源を活かした産業創出を進めるにしても作業道の管理者と行政一体の新たな管理体制が必要と考えます。

市長の考えをお尋ねします。

【答】萩市は広大な森林を抱えています。林業の採算性の悪化や担い手不足により、森林整備や林内路網の維持・管理が難しい状況です。諸外国では木材の輸出規制が強化されつつあり、国産材時代への対応策として路網システムの構築が必要となってきます。市においても、施業の集約化による搬出間伐や作業の必要性に応じて、制度を活用した路網整備を進めるとともに、今後の路網整備、維持管理のあり方や対策を森林組合を含めて考えていきます。



林内道路

《他の質問項目》
・ 道路行政について (県道高佐下阿武線の整備促進について)



まあるるバスは、小畑・長山へは行きませんか
大村 赴夫
(誠風会)

【問】萩循環まあるるバスの運行について、利用者の皆さんの意見は概ね好評です。

それだけに、まあるるバス運行の恩恵に浴さない地域から路線変更や路線延伸の強い要望が出るのです。具体的には、小畑・越ヶ浜・長山・笠屋などからです。

現在は、東回り・西回りとも1時間2便での運行ですが、これを各地域からの要望に沿うように見直されてはいかがですか。

まあるるバス運行計画はどこでつくられているのですか。

【答】小畑や長山方面へは現在、定期路線バスが走っており、このルートに料金体系の異なるまあるるバスを走らすことは、バス事業者の理解が得られず、定期路線バスの廃止という話にもなりません。また、現在のルートを変更するには、「萩市地域公共交通会議」で意見を聴取し、合意を得た上で運輸局に届け出る必要があります。なお、市内全域における公共交通の在り方については、今後策定する「萩市公共交通維持計画」において検討していきます。

《他の質問項目》
・ 大学問題
・ 企業誘致



萩循環まあるるバス (市役所前)



**議員に金銭が渡る疑惑
公共事業をゆがめるな**

宮内 欣二
(日本共産党)

【問】大島漁港漁場整備工事にいかかわって、ある議員に500万円が渡ったという情報があります。これが事実なら萩市を揺るがす大問題です。

調べてみると鋼材の不自然な流れがあり、それが市に報告されています。議員が関わっていた可能性があります。

業者接待で懲戒処分された事件の時に、この議員と一緒に接待を受けていました。議員が職員に働きかけた疑いもあります。実態調査が必要ではありませんか。

公共事業をゆがめているのではないのでしょうか。

【答】事実であれば大変なことです。事実として確認できなかったら、その議員の不名誉をどうやって挽回されるのか理解に苦しみます。議会として然るべき対応か、司法当局ときちんと決着をつけて事実の確認を取ることです。鋼材の取引については、様々な流れがあるのだろうと思います。まずは議員自身できちんと確認した上で然るべき措置を取ることです。私ももちろん確認を取ります。一方の話だけを信じて言われることは早計ではないかと思えます。



大島漁港特定漁港漁場整備工事

《その他の質問項目》

- ・震災がれきへの対応について
- ・高すぎる国保料に対する市長の政策的見解を聞く



水道料金の軽減はできないか

中野 伸
(無所属)

【問】①千石台大根選果場の水道料金について洗浄施設で使用する水道は、家事用で年間約200万円、改定で約220万円の高料金となります。農業振興の観点から、料金の軽減をお願いします。

②集会所水道料金について、おつみ地域では、1集会所当たりの水道料金は、改定により、4千円も高料金となりました。改定表には、集会所の枠がなく高い区分に充てるため高料金となります。集会所の枠を設け軽減をお願いします。

【答】千石台大根選果場の水道は、営農飲雑用水として飲料水にも使用されており、簡易水道料金を適用しています。今後どういった形で対応できるか考えていきたいと思えます。また、集会所の料金につきましても、合併後統一されていなかった料金を昨年改定し、用途区分や基本水量についても調整を図ったところですが、基本水量については、一般の家庭等でも使用水量の少ない方もいますので、次回の料金改定の中で調整を行いたいと考えています。



大根選果場

《その他の質問項目》

- ・奥阿武幸判断場の復元について
- ・河川管理について
- ・情報格差について
- ・市有地の経済特区について



児童発達支援センター「からふる」の支援対策を

佐々木 武夫
(公明党)

【問】今年から児童福祉法が変わり「からふる」の地域貢献の役割も、重要な責任がある立場になり、より専門の人材確保は大きな課題です。その人材確保と共に、歯科検診が受けられるように、又障がい児が安心して治療ができるよう支援をお願いします。医者不足とはいえ、萩にも歯科医は居られる。前もって検診を受ければ対処やアドバイスもできる。悪くなりすぎると医者代も保険料も高くなる。検診ができるよう萩市の支援をお願いします。

【答】「からふる」を含め福祉関係の人材確保は、大変厳しいものがあり、市内の各社会福祉法人も人材確保に苦労されていると聞いています。市としても、広報や情報提供ということでの支援を考えていきたいと思えます。歯科検診については、保育園等と同様に「からふる」においても歯科検診ができるように、また、障がいを持ったお子さんの歯科診療についても今回の質問を受け、歯科医師会と協議してみたいと思えます。



からふる(旧ふたば園児童部)

《その他の質問項目》

- ・見島の住民が安心して暮らせ、持続可能な発展、交流ができる環境づくりを
- ・耕作放棄地をなくすために



震災がれき受入れにか
かわる風評被害対策は

関 伸久
(過疎問題を考える会)

【問】先の5月臨時会における「災害廃棄物の広域処理に関する要望決議(略称)」の可決以降、第一次産業に携わる事業者を中心にその販売先から問い合わせが相次いでいます。風評被害はコントロール不可能で一度走り出すと時間の経過以外にそれを止めることは困難です。そんなリスクがあるがれきの受入れは、萩市議会議員の一人として許容できません。市長自ら、震災がれきの受入れはしない、できないと発信することで、風評対策とできないでしょうか。

【答】震災がれきの処理は国内の大惨事に起因するもので、何らかの協力をしたという気持ちで出発しましたが、様々な課題があり、現在環境省、山口県と議論をしています。県内の市町からは一次質問から三次質問まで、合計10分野103項目の問合せをしています。萩市の焼却灰の処理は、現在周南市の民間会社で行っていますが、この受入れが難しい状況にありますので、現時点では、受入れは困難だと言わざるを得ません。



東日本震災のガレキ

《その他の質問項目》
・医療従事者確保対策事業はPRが不足しているのではないか



女性の視点で防災計画の見直しを

中村 洋一
(公明党)

【問】昨年の東日本大震災では、仕切りのない避難所で男女一緒に生活を強いられ着替えや下着を干すスペースも無く、防災対策に女性の視点が反映されていない状況が浮き彫りになりました。萩市では54名の防災会議委員のうち4名が女性委員です。しかし、看護学校長・看護協会支部長・日赤奉仕団团长・婦人防火クラブ隊長といった組織の代表者です。純粋に女性の立場で発言できる委員の登用をどのようにお考えでしょうか、お尋ねします。

【答】防災会議委員は公的機関の長が充て職となっています。萩市防災会議は、女性委員の数と構成比が県内で最大となっていますが、昨年「3・11の教訓」から避難所運営・被災者支援・復興など災害発生後のソフト対策には女性や生活者の視点からの新たな対策が必要であると考えています。委員を54名から35名に整理し、広い視点で検討できるような各年齢層の女性委員8名を追加し、女性の構成比を1/3以上とする予定です。



大井川の河川管理について

西元 勇
(誠風会)

【問】大井は、暴れ川の異名をもつ大井川によって有史以来水害に悩まされてきた地域です。こうした過去をもつ大井川の現状は長い間手が加えられていないため川床が浅くなり、浚渫が急がれる箇所や毎年雑草が刈り残された中州など河川とは言えない状況になっています。したがって専門家からは、早晚大災害につながるのを多く聞く昨今です。この川は、ご承知のとおり県管理の川です。県と市が協力した減災対策について市長の所見をお尋ねします。

【答】大井川については、平成9年の台風9号により堤防が5箇所決壊する甚大な災害が発生しました。その後、復旧する過程において3案の検討がされましたが、用地等の問題により今なお整備が進んでいない状況です。その後、大きな災害は起きていませんが、県においても、重要河川と認識しており、昨年度部分的ですが堤防改修を行い、今年度も堤防改修、河川浚渫を行うと聞いています。市としても、災害対策等しっかりと対応したいと考えています。



雑草の茂った大井川

《その他の質問項目》
・花を生かした地域づくりについて



公共事業に係わる現職議員
と職員との倫理観について

諸岡 皓二
(無所属)

【問】平成18年の大島漁港特定漁港漁場整備工事に於いて、物流の市当局の管理不足及び要職議員に金銭授受・接待等の疑惑があり、調査した結果、どちらも信憑性が高い証言がありました。物流に対しては、元請業者からの使用材料届書が市当局に提出されず、別会社を経由して現場に。

市当局は別会社を経由したことすら知らず、さらに別会社から要職議員に対して金銭授受がありました。又要職議員、職員への接待もあり、倫理観は、どうなっているのですか。

【答】議員が言われていることは事実だという確証が得られていません。

また、物の流れと現金授受の因果関係も立証されていません。仮定の上立った議論はやめるべきです。

職員が接待を受けているという事実があれば具体的に言っていたら、厳正に処分します。

《その他の質問項目》

- ・ 山口福祉文化大学の二度目の民事再生について
- ・ 震災がれきの受入れについて
- ・ 農林漁業再生元年予算について
- ・ 障がい児対策について



空から見た萩市役所



通学路の安全について

世良 眞名夫
(誠風会)

【問】昨今、新聞等をにぎやかしている通学路で子供達が交通事故にまきこまれ、原因が何であれ大変残念なことです。子供達が無心で学校で勉強しようとして通学する中でこの様な事に出くわし、それは大人の身勝手な行動からだと思えます。教育委員会は学校と連携の中で通学路を検討されているとは思いますが萩市で絶対に起こらない様に取り組んでいただきたいと思います。市内の小中学校の登下校の現状や危険場所の把握と対策はされておられるでしょうか。

【答】現在、ほとんどの学校では、学期始めや学期末に教職員による通学路の安全点検を実施しています。また、小学校では集団登校を実施している学校もあり、児童の助け合いによって安全な登校へと繋がっています。教育委員会としても、7、8月にかけて、学校・警察・道路管理者と連携し、通学路の緊急合同点検を実施する予定です。

今後とも、関係機関と連携して、児童生徒が安全に登下校できる環境を整え、安心安全の確保に努めていきます。

《その他の質問項目》

- ・ 山口福祉文化大学について
- ・ 明治維新150年について



小学生の通学路



経済再生に流汗

広兼 義烈
(誠風会)

【問】経済の力を盛り返そうという方針を推進して、雇用の場をつくり、定住を促進し、豊かなまちにし、人口減少に歯止めをかけることは市民共通の願いです。行政・市民共に汗を流さなくてはならない課題です。

まちづくりのためには産業振興は欠かせません。今後、どんな業種の振興・育成、起業支援、企業誘致、農林漁業の振興、産業立地の検討等の取り組みについて質します。

【答】市では、農・林・漁業、観光等個々の分野で頑張っています。具体的には、成果を上げて萩市産品のブランド化を引続き推進し、起業化への支援は、地域の活性化につながるよう対象要件を絞りその拡充を検討しています。

企業誘致では、東京、大阪等の萩市出身者の企業訪問により積極的に誘致の推進を図っています。

林業では、公共建築物等への木材利用の促進に努めるとともに、漁業では、萩の魚のブランド化を推進し漁業者の所得の向上を図ります。

《その他の質問項目》

- ・ 職員の健康増進に関して問う



大漁を願う漁業者



**防災の諸課題
地域に応じた対策**

木村 靖枝
(政和会)

【問】地域全体で防災体制を整えるためには、地域の地形・環境を鑑み、その地域で発生が予想される自然災害を回避する指導・助言が必要で、今後地域に向いて防災体制の指導助言を計画的に実施されるお考えはないかお尋ねします。

災害発生と避難の呼びかけをサイレンの吹鳴と有線放送に頼っていますが、停電の際は使用不能です。情報の伝達・広報には消防車のサイレンや放送だけでは間に合いません。より迅速な情報の伝達についてお尋ねします。

【答】防災安全課で地域・対象者の特性や希望からオリジナル教材を作成し、町内会・事業所・施設等からの要請により座学から実技訓練まで防災出前講座を実施していますので、ご相談ください。停電時はサイレンや漁協等の拡声器が使用できません。緊急広報は防災メール・緊急速報メール(携帯電話に強制配信)・防災行政無線線を使用します。FM萩(77.5MHz)でも様々な情報を流していますので、普段からラジオを聞く習慣付けをお願いします。

- 《その他の質問項目》
- ・ 商工観光行政
- ・ 農林行政



土砂災害現場



農業再生元年の取り組みについて

横山 賢治
(松風会)

【問】萩地域の農業再生に向けての対策として、就労者の年齢等を考え、市としては8名の集落応援者を公募するなどの前向きに取り組んでおられること、農林水産部長の発案で「萩帰農塾」を市職員を対象に始められたとのこと。私はもう一歩踏み込んだ給与・身分を確保した上で、農業法人に期間を決め出向するという農業補助人という考えを、大分県姫島村のワークシェアリングの例を引用し、行政・農政の維新としての取り組みを提案します。前進が大切の思いです。

【答】姫島村のワークシェアリングを例にした攻めの農業補助人の提案は、画期的な発想と考えますが、萩市において実施が可能か否かは今後十分な検討が必要で、今年、市では市職員を対象とした「萩帰農塾」を開設し、県の農業専門指導員が様々な観点から講義を行います。

今は農業から離れている職員も、退職後または数年後、農家あるいは法人の一人として農業に従事することも期待されます。これは議員の提案とも共通するものと考えます。

- 《その他の質問項目》
- ・ 副市長2人体制の効果について
- ・ 萩市の一体感の醸成について
- ・ 市長継続の意思について



耕作放棄地



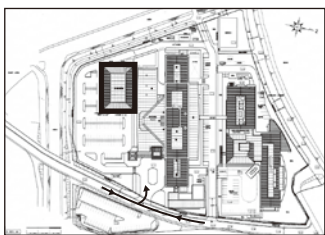
救急医療体制(休日急患診療センターの運営)について

斉藤 眞治
(民主党)

【問】地域医療再生計画に伴い休日急患診療センターが、平成23年〜平成25年度で整備されます。そこで、センターの建設及び運営について、4点お尋ねします。

- (1) センター実施設計が、市外の事業所との随意契約とされたのはなぜですか。
- (2) 運営にあたって、萩市医師会の先生方との協議の進捗は。
- (3) 医師・看護師・薬剤師等、診療職員はどうされるのですか。
- (4) センターの運営について、萩市民病院全職員との協議は。

【答】(1) 萩市民病院に併設するため、萩市民病院の設備等の有効活用を図ることから、建設当初から設計監理業務に携わり、既存施設の機能及び機器類を把握している事業所と随意契約しました。(2) 医師会の先生方も多く参加されている萩地域医療再生計画推進協議会において、随時協議を行っています。(3) 圏域外からの雇用などにより確保することとしています。(4) 今後、必要に応じて協議することとします。



建設予定配置図

- 《その他の質問項目》
- ・ 職員の定数適正化計画の進捗及び人材育成について(公共サービスと行政責任のあり方について)

主要道路整備促進調査特別委員会の活動状況

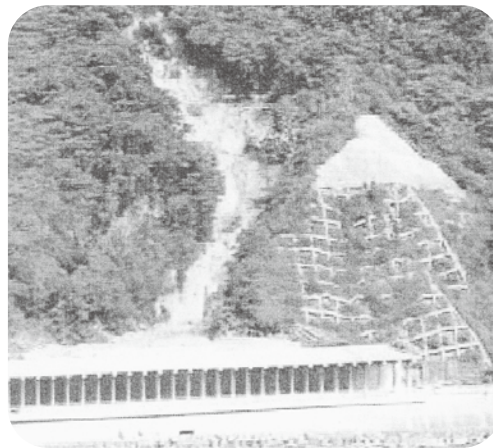
基本計画路線への格上げを

○山口県土木建築部・国土交通省山口河川国道事務所・同中国地方整備局への要望活動（5月31日）
平成24年5月7日に開催された5月臨時会で、正・副議長及び道路特別委員会委員が交代しました。

そこで、新たな構成メンバーで就任の挨拶及び、山陰自動車道（萩～益田間）、地域高規格道路小郡萩道路の早期整備の要望活動を行いました。

今後の取り組みとして、小郡萩道路については、県事業への国からの支援要請、山陰自動車道については、予定路線から基本計画区間とするために、社会資本整備審議会道路分科会・中国地方小委員会の早期開催を求め国交省への要望活動を行います。

※社会資本整備審議会道路分科会・中国地方小委員会
国の直轄事業の事業評価など地方における道路事業の効率的な実施に関し、整備局から報告を受け分科会に具申を行います。



国道191号の危険地域

産廃処分場建設問題調査特別委員会の活動状況

○「萩・福栄 水と命を守る会」との懇話会を開催
(6月28日)

- ・水と命を守る会から視察報告
東海村での「ゴミ焼却と放射能汚染されたゴミ問題」の講演会とゴミ弁連総会参加報告。
- ・JAあぶらんど萩通常総代会で次項を特別決議
「阿武・萩地域の農業を振興し、食と緑と水を守るため、産業廃棄物最終処分場建設を断固阻止する」
- ・特別委員会
萩・福栄 水と命を守る会と連携し、産廃処分場建設を阻止する運動を継続する事を確認しました



全員協議会

6月20日・28日、7月2日・4日の4回開催しました。協議内容は、次のとおりです。

6月20日

- ・執行部説明
 - (1) 新清掃工場整備・運営事業の進捗状況
(萩・長門清掃一部事務組合)
 - (2) 萩市健康福祉計画の見直しについて
(福祉政策課)
 - (3) 畜産共同利用施設整備事業計画変更について
(農政課)
 - (4) 萩の木になるプロジェクト事業概要について
(商工課)
- ・陳情・要望（4件）

6月28日

- ・地方自治法第100条に基づく調査に申し入れについて

7月2日

- ・6定例会一般質問に対する答弁（補足説明）について
(市長)
- ・陳情・要望（3件）
- ・地方自治法第100条に基づく調査申し入れ

7月4日

- ・議会運営に関する申し合わせ



田万川
地域

親睦ソフトバレー大会



川上
地域

京床地区水害時避難訓練



萩
地域

萩の瀬つきあじ祭り



須佐
地域

鈴野川ほたるまつり



むつみ
地域

第12回むつみ少年剣道大会



旭
地域

技・明木展



福栄
地域

福栄どろ祭り

した。半年間の主従の努力が実つて「モンキードッグ認定証」を拝命した。しかしその後、当地域にはサルの出没がなく磨いた技を見せる場もなく、未だに対面もないペーパーモンキードッグではあるがその出番の日を待っている。

西元 勇

つれづれなるままに



三に「サルが寄り付きにくい集落をつくる」の三つの徹底が大切である。そこで我が家では、柴犬「萌」を地域に役立つ「モンキードッグ」に育てるため訓練場へ通わせることに

モンキードッグ「萌」
萩市農政課内に有害鳥獣対策係が設置され「モンキードッグ」の養成が始まった。サル被害に悩まされている農家には救いの一灯であり、サルに勝る知恵と工夫に期待が寄せられている。サル被害防止策は一に「追い払い」二に「集落を餌場にしない」

編集後記

7月8日、高齢者から小学生までの多くの市民で河川海岸一斉清掃が行われました。まさに「日本一ごみのないまち」になり、参加された方に心から感謝を申しあげたい。昭和63年3月「庭園都市宣言」で全市にプランターが配布され、市民が花の植栽に励みましたが、現在は市民一斉清掃によるきれいな萩に、全市民が自発的に花木を植栽しきれいなまち萩に、まさに花を副えています。

●表紙の説明
42回を数える「越ヶ浜小中学校の和船競漕」の様子です。7月1日に実施されました。

議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 広兼 義烈
- 委員 齊藤 眞治
- 委員 佐々木 武夫
- 委員 長岡 肇太郎
- 委員 西島 孝一

平田 啓一
西中 忍